

環境保護の取り組み

製品設計段階の環境負荷低減

製品は生産段階から廃棄段階に至るまで、長期にわたるライフサイクルにおいて、環境負荷を発生しています。沖電気ではライフサイクル全体にわたる環境負荷低減に取り組んでいます。

1. 製品アセスメントの実施

環境への負荷の少ない製品を提供するためには設計段階において、省エネ・省資源・リサイクル性など、製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価し可能な限り改善することが必要です。

このため、1995年に製品アセスメント制度を制定しました。この制度は、たとえば、表に示す11の分類について、22項目を設計段階で評価するものです。評価は数値化され、結果が一定の水準に達しない場合は、再設計もしくは設計変更を行ないます。

1999年度は、現金自動預け払い機(ATM)、OA機器、交換機、通信端末、漏水検知機など37機種で製品アセスメントを実施しました。

2. グリーン調達への推進

製品の環境負荷を削減するためには、購入部品の環境負荷を削減することが不可欠です。そこで、取引先から購入する製品、部品、材料に含まれる有害物質の調査を、取引会社のご協力を得、実施しました。1999年度までに、主要取引会社107社(約2万品種)の調査を終えました。今後は、このデータをデータベース化し、有害物質のより少ない製品開発に活用します。

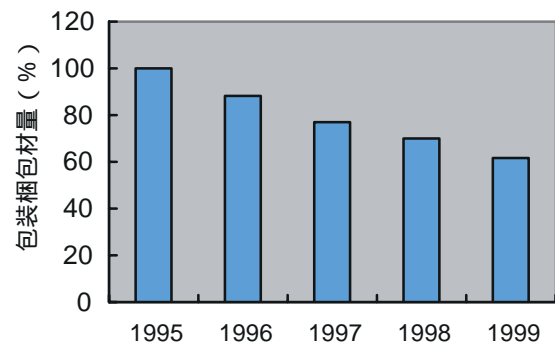
製品アセスメントの実施例

分類	項目
1. リサイクルの可能性	3
2. 解体・分離の容易性	3
3. 分別の容易性	2
4. 製品の小型化・軽量化	2
5. 再生資源等の利用	2
6. 再生資源の利用促進	1
7. 製品・部品の耐久性	1
8. エネルギー消費量	3
9. 回収・運搬の容易性	1
10. 処理時の安全性	2
11. 環境汚染物質の回避	2

3. 包装・梱包材の削減

一般廃棄物に占める容器・包装廃棄物の割合は、容積比で約60%あり、この削減が課題となっています。沖電気では、1995年に包装・梱包アセスメント制度を設け、この実施により、製品の包装・梱包材の削減に努めています。

1999年度は現金自動預け払い機(ATM)、OA機器、交換機、通信端末、漏水検知機など37機種で包装・梱包アセスメントを実施し、包装・梱包材量を前年度比、9%削減しました。



包装梱包材量推移

4. ライフサイクルアセスメントの実施

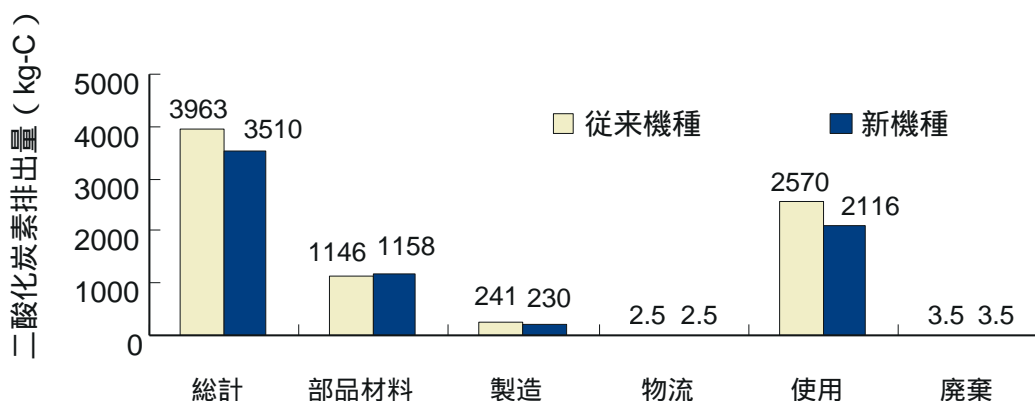
ライフサイクルアセスメント（LCA）とは製品やサービスの生産から廃棄まで（ライフサイクル）の物質とエネルギーの流れを一貫して計量し、環境への影響を評価するもので、製品のライフサイクル全体の環境負荷を把握するのに有効な手法です。

1999年度は現金自動預払機（ATM）で、LCAを実施しました。下図のように、新機種は従来機種に比べ、二酸化炭素排出量（炭素換算）が約12%減少するという結果を得ました。

評価結果は新機種の環境負荷低減に活用します。



ATM



LCAによるATMの二酸化炭素排出量

5. グリーン調達推進部会、LCA推進部会の発足

グリーン調達やLCA（ライフサイクルアセスメント）を効率的に行うには、実施方式やデータベースの全社共通化検討が必要です。このため、全社を包括する「グリーン調達推進部会」および「LCA推進部会」を発足しました。